

お客様各位

カタログ等資料中の旧社名の扱いについて

2010年4月1日を以ってNECエレクトロニクス株式会社及び株式会社ルネサステクノロジが合併し、両社の全ての事業が当社に承継されております。従いまして、本資料中には旧社名での表記が残っておりますが、当社の資料として有効ですので、ご理解の程宜しくお願ひ申し上げます。

ルネサスエレクトロニクス ホームページ (<http://www.renesas.com>)

2010年4月1日

ルネサスエレクトロニクス株式会社

【発行】ルネサスエレクトロニクス株式会社 (<http://www.renesas.com>)

【問い合わせ先】 <http://japan.renesas.com/inquiry>

MESC TECHNICAL NEWS

No. M380-34-9812

3851 グループユーザズマニュアル の追加情報 (REV.A)

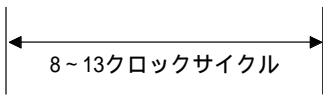
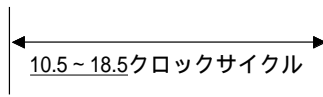
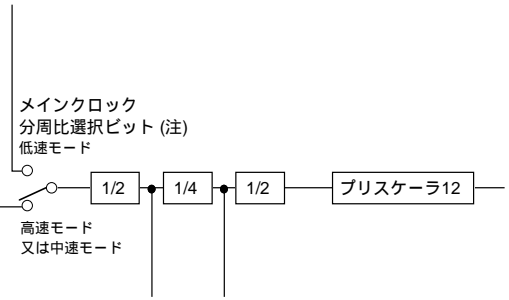
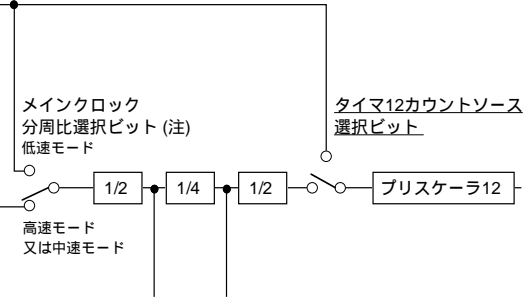

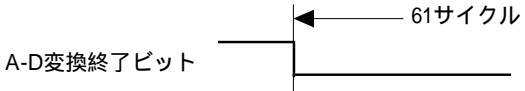
1998年7月発行の「3851 グループユーザズマニュアル」(印刷番号：HU-087A)に、一部内容の訂正がありましたので、お知らせいたします。訂正内容は添付資料の正誤表 (REV.A) を参照してください。

以上

添付：「3851 グループユーザズマニュアル」

正誤表 (REV.A)..... ページ 2/10 ~ 10/10

ページ	位置	誤	正
1-2	右段6行目	高速モード時.....2.7~5.5V (発振周波数4MHz時)	高速モード時..... 2.7~5.5V (発振周波数4MHz時) 4.0~5.5V (発振周波数8MHz時)
1-9	図6	b1b0 0 1 : メモリ拡張モード 1 0 : マイクロプロセッサモード	b1b0 0 1 : 使用禁止 1 0 : 使用禁止
1-11	図8	0031 ₁₆	0031 ₁₆ 予約(注)
1-16	図12		
1-27	図25		
1-30	表10	セットアップ $\frac{SCC値}{2} + 1$ サイクル < 4.0 μs (3.25 μs) ホールド $\frac{SCC値}{2}$ サイクル < 4.0 μs (3.0 μs)	セットアップ $\frac{SCC値 + 1}{2}$ サイクル < 4.0 μs (3.125 μs) ホールド $\frac{SCC値 + 1}{2}$ サイクル < 4.0 μs (3.125 μs)
1-35	左段15行目	PWM周期... $= 31.875 \times (n + 1) \mu s$ ($f(X_{IN}) = 8MHz$ の場合)	PWM周期... $= 31.875 \times (n + 1) \mu s$ ($f(X_{IN}) = 8MHz$ 、カウントソースは $f(X_{IN})$ の場合)
1-35	左段17行目	出力パルスの“H”期間... $= 0.125 \times (n + 1) \times m \mu s$ ($f(X_{IN}) = 8MHz$ の場合)	出力パルスの“H”期間... $= 0.125 \times (n + 1) \times m \mu s$ ($f(X_{IN}) = 8MHz$ 、カウントソースは $f(X_{IN})$ の場合)
1-35	図34	T : PWM周期 ($f(X_{IN}) = 8MHz$ の場合)	T : PWM周期 ($f(X_{IN}) = 8MHz$ 、カウントソースは $f(X_{IN})$ の場合)
1-37	左段25行目 A-D変換中は $f(X_{IN})$ を500kHz以上にして下さい。	A-D変換中は $f(X_{IN})$ を500kHz以上にして下さい。 M38514E6/M6では内蔵の自己発振回路を用いてA-D変換を実行するため、低速モードでのA-D変換が可能です。

ページ	位置	誤	正																																										
1-39	図44																																												
1-39	図44	注1 . f(X _{IN})とf()の周波数関係は、f(X _{IN}) = 2 · f()です。 ...	注1 . f(X _{IN})とf()の周波数関係は、f(X _{IN}) = 8 · f()です。 ...																																										
1-40	図45	(23) I ² Cスタ... 0030 ₁₆ <table border="1" data-bbox="603 472 879 510"><tr><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td><td>1</td><td>0</td><td>1</td><td>0</td></tr></table>	0	0	0	1	1	0	1	0	(23) I ² Cスタ... 0030 ₁₆ <table border="1" data-bbox="1161 472 1437 510"><tr><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>x</td><td>x</td><td>x</td><td>x</td><td>x</td></tr></table>	0	0	0	x	x	x	x	x																										
0	0	0	1	1	0	1	0																																						
0	0	0	x	x	x	x	x																																						
1-43	図49																																												
1-50	図55																																												
1-52	図57	<table border="1" data-bbox="363 1099 890 1406"> <thead> <tr> <th>b</th> <th>リセット時</th> <th>W</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>0</td><td>0</td><td></td></tr> <tr><td>1</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>7</td><td>0</td><td>x</td></tr> </tbody> </table> <p>このビットには何も配置されていません。書き込み不可で、読み出した場合、その内容は“0”です。</p>	b	リセット時	W	0	0		1			2			3			4			7	0	x	<table border="1" data-bbox="922 1099 1449 1406"> <thead> <tr> <th>b</th> <th>リセット時</th> <th>W</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>0</td><td>不定</td><td></td></tr> <tr><td>1</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>7</td><td>0</td><td>—</td></tr> </tbody> </table> <p>このビットは“0”に固定してください。</p>	b	リセット時	W	0	不定		1			2			3			4			7	0	—
b	リセット時	W																																											
0	0																																												
1																																													
2																																													
3																																													
4																																													
7	0	x																																											
b	リセット時	W																																											
0	不定																																												
1																																													
2																																													
3																																													
4																																													
7	0	—																																											

ページ	位置	誤	正
2-4	11行目	また、内蔵されているプルアップ又はプルダウン抵抗を使用する場合は、電流値のばらつきに注意して下さい。 ・入力ポートに設定している場合：入力レベルを固定する。 ・出力ポートに設定している場合：外部に電流が流出しないようにする。	すべて削除。
2-5	7行目 12行目	内蔵プルアップ/プルダウン抵抗が選択可能なポートでは、内蔵プルアップ/プルダウン抵抗を使用することもできます。	すべて削除。
2-13 2-15 2-20	図2.2.10 図2.2.14 図2.2.20		タイマXカウント ソース選択ビット 
2-13 2-15	図2.2.11 図2.2.15		タイマXYモードレジスタの上に追記。 タイマカウントソース設定レジスタ(28 ₁₆ 番地) TCSS  → タイマXカウント ソース：f(X _{IN})/16
2-14	図2.2.12 左上	TM (23 ₁₆ 番地) ← XXXX1000 ₂ ICON1 (3E ₁₆ 番地),bit6 ← 1 ⋮ PREX (24 ₁₆ 番地) ← 256 - 1	TM (23 ₁₆ 番地) ← XXXX1000 ₂ IREQ1 (3C ₁₆ 番地),bit6 ← 0 ICON1 (3E ₁₆ 番地),bit6 ← 1 ⋮ TCSS (28 ₁₆ 番地),bit0 ← 0 PREX (24 ₁₆ 番地) ← 256 - 1
2-14	図2.2.12 左中	メイン処理 ⋮ 時計設定終了処理 (注1) PREX (24 ₁₆ 番地) ← 256 - 1 TX (25 ₁₆ 番地) ← 256 - 1 IREQ1 (3C ₁₆ 番地),bit6 ← 0	メイン処理 ⋮ 時計設定終了処理 (注1) TM (23 ₁₆ 番地),bit3 ← 1 PREX (24 ₁₆ 番地) ← 256 - 1 TX (25 ₁₆ 番地) ← 256 - 1 IREQ1 (3C ₁₆ 番地),bit6 ← 0 TM (23 ₁₆ 番地),bit3 ← 0
2-14	図2.2.12 右上	・タイマX：タイマモード ・タイマX割り込み：許可	・タイマX：タイマモード ・タイマX割り込み要求ビットクリア ・タイマX割り込み：許可 ・タイマXカウントソース：f(X _{IN} /16)
2-16	図2.2.15		最下端に追記。 割り込み制御レジスタ1(3E ₁₆ 番地) ICON1  → タイマX割り込み禁止
2-16	図2.2.16 左上	P2D (05 ₁₆ 番地) ← 1 x x x x x x 2 ⋮ ICON1 (3E ₁₆ 番地),bit6 ← 0	P2D (05 ₁₆ 番地) ← 1 x x x x x x 2 ⋮ TCSS (28 ₁₆ 番地),bit0 ← 0 ICON1 (3E ₁₆ 番地),bit6 ← 0

ページ	位置	誤	正																
2-19	図2.2.19 左上	TY (27 ₁₆ 番地) ← 256 - 1 ICON2 (3F ₁₆ 番地), bit0 ← 1	TY (27 ₁₆ 番地) ← 256 - 1 ICON1 (3E ₁₆ 番地), bit7 ← 0 ICON2 (3F ₁₆ 番地), bit0 ← 1																
2-19	図2.2.19 右上	・タイマ1割り込みが2msごとに発生するように分周比を設定 ・タイマ1割り込み：許可	・タイマ1割り込みが2msごとに発生するように分周比を設定 ・タイマY割り込み禁止 ・タイマ1割り込み：許可																
2-21	図2.2.21 下	<p>割り込み制御レジスタ2(3F₁₆番地)</p>  <p>→ CNTR₀割り込み：許可</p> <p>割り込み要求レジスタ2(3D₁₆番地)</p>  <p>→ CNTR₀割り込み要求</p> <p>(“H”レベルの入力が終了すると、“1”になる)</p>	<p>割り込み制御レジスタ2(3F₁₆番地)</p>  <p>→ CNTR₀割り込み：許可</p> <p>割り込み要求レジスタ2(3D₁₆番地)</p>  <p>→ CNTR₀割り込み要求</p> <p>(“H”レベルの入力が終了すると、“1”になる)</p>																
2-23	3行目	タイマ12カウントソースビット及びタイマXカウントソースビット、タイマYカウントソースビットにより...	タイマ12カウントソース <u>選択</u> ビット及びタイマXカウントソース <u>選択</u> ビット、タイマYカウントソース選択ビットにより...																
2-27	図2.3.7	<p>b7 b6 b5 b4 b3 b2 b1 b0</p>  <p>⋮ (中略)</p> <table border="1" data-bbox="359 1052 885 1187"> <tr><td>4</td><td>これらのビットには何も配置されていません。</td></tr> <tr><td>5</td><td>書き込み不可で、読み出した場合、その内容は“0”です。</td></tr> <tr><td>6</td><td></td></tr> <tr><td>7</td><td></td></tr> </table>	4	これらのビットには何も配置されていません。	5	書き込み不可で、読み出した場合、その内容は“0”です。	6		7		<p>b7 b6 b5 b4 b3 b2 b1 b0</p>  <p>⋮ (中略)</p> <table border="1" data-bbox="933 1052 1460 1187"> <tr><td>4</td><td>このビットは“0”に固定してください。</td></tr> <tr><td>5</td><td>これらのビットには何も配置されていません。</td></tr> <tr><td>6</td><td>書き込み不可で、読み出した場合、その内容は“0”です。</td></tr> <tr><td>7</td><td></td></tr> </table>	4	このビットは“0”に固定してください。	5	これらのビットには何も配置されていません。	6	書き込み不可で、読み出した場合、その内容は“0”です。	7	
4	これらのビットには何も配置されていません。																		
5	書き込み不可で、読み出した場合、その内容は“0”です。																		
6																			
7																			
4	このビットは“0”に固定してください。																		
5	これらのビットには何も配置されていません。																		
6	書き込み不可で、読み出した場合、その内容は“0”です。																		
7																			
2-29	図2.3.10	送信のみ行う場合 (S _{IN} 端子は入出力ポートとして使用)	送信のみ行う場合 (R _x D端子は入出力ポートとして使用)																
2-32	図2.3.14	<p>SCLK </p> <p>TxD </p>	<p>D₇の表記変更。</p> <p>SCLK </p> <p>TxD </p>																
2-37	4行目	同一の仕様で、シリアルI/Oを使用した例を示します。	一文削除。																
2-38	図2.3.21	割り込み制御レジスタ2 (3E ₁₆ 番地) ⋮ 割り込み要求レジスタ2 (3C ₁₆ 番地)	割り込み制御レジスタ2 (3F ₁₆ 番地) ⋮ 割り込み要求レジスタ2 (3D ₁₆ 番地)																
2-38	図2.3.22	レジスタ1のビット3 = “1”)、データを書き込む	レジスタ2のビット3 = “1”)、データを書き込む																

ページ	位置	誤	正																																																												
2-39	図2.3.23																																																														
2-52 3-23	21行目 11行目	(8) 送信データの書き込み クロック同期シリアルI/Oでは、同期クロックとして外部クロックを選択した場合、転送クロックの入力レベルが“H”の時に、送信バッファレジスタ(シリアルI/Oシフトレジスタ)へ送信データを書き込んでください。	すべて削除。																																																												
2-55 3-52	図2.4.6 図3.5.20	<table border="1"> <thead> <tr> <th>レジスタ値 b4 ~ b0</th> <th>標準 クロック モード</th> <th>高速 クロック モード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>00 ~ 02</td> <td>禁止</td> <td>禁止</td> </tr> <tr> <td>03</td> <td>禁止</td> <td>333</td> </tr> <tr> <td>04</td> <td>禁止</td> <td>250</td> </tr> <tr> <td>05</td> <td>100</td> <td>400(注)</td> </tr> <tr> <td>06</td> <td>83.3</td> <td>166</td> </tr> <tr> <td>:</td> <td>500/CCR値</td> <td>1000/CCR値</td> </tr> <tr> <td>1D</td> <td>17.2</td> <td>34.5</td> </tr> <tr> <td>1E</td> <td>16.6</td> <td>33.3</td> </tr> <tr> <td>1F</td> <td>16.1</td> <td>32.3</td> </tr> </tbody> </table> <p>(= 4MHz、単位: kHz) 注. 高速クロックモード、400kHz時のデューティは、“0”期間; “1”期間 = 3:2、それ以外のデューティは、“0”期間; “1”期間 = 1:1</p>	レジスタ値 b4 ~ b0	標準 クロック モード	高速 クロック モード	00 ~ 02	禁止	禁止	03	禁止	333	04	禁止	250	05	100	400(注)	06	83.3	166	:	500/CCR値	1000/CCR値	1D	17.2	34.5	1E	16.6	33.3	1F	16.1	32.3	<table border="1"> <thead> <tr> <th>レジスタ値 b4 ~ b0</th> <th>標準 クロック モード</th> <th>高速 クロック モード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>00 ~ 02</td> <td>禁止</td> <td>禁止</td> </tr> <tr> <td>03</td> <td>(注2)</td> <td>333</td> </tr> <tr> <td>04</td> <td>(注2)</td> <td>250</td> </tr> <tr> <td>05</td> <td>100</td> <td>400(注3)</td> </tr> <tr> <td>06</td> <td>83.3</td> <td>166</td> </tr> <tr> <td>:</td> <td>500/CCR値(注3)</td> <td>1000/CCR値(注3)</td> </tr> <tr> <td>1D</td> <td>17.2</td> <td>34.5</td> </tr> <tr> <td>1E</td> <td>16.6</td> <td>33.3</td> </tr> <tr> <td>1F</td> <td>16.1</td> <td>32.3</td> </tr> </tbody> </table> <p>(= 4MHz、単位: kHz) (注1) 注1. SCLクロック出力のデューティは50%です。高速クロックモードCCR値 = 5のみ35 ~ 45%になります(400kHz、 = 4MHz時)。また、クロックの“H”の期間は標準クロックモードで+2 ~ -4マシサイクル、高速クロックモードで+2 ~ -2マシサイクル変動があります。負値変動の場合、“H”の期間が短くなった分、“L”の期間が延びますので周波数上がることはありません。これらはシンクロニズ機能によるSCLクロック同期が行われていない場合の値です。CCR値はSCL周波数制御ビットCCR4 ~ CCR0を10進数表記した値です。 注2. = 4MHz以上では各々のSCL周波数の値が規格の範囲外になります。これらの設定値を使用する場合は、をより低い周波数で使用ください。 注3. SCL周波数の計算式は次のとおりです。 $\frac{1}{(8 \times \text{CCR値}) \text{標準クロックモード}}$ $\frac{1}{(4 \times \text{CCR値}) \text{高速クロックモード} (\text{CCR値} = 5)}$ $\frac{1}{(2 \times \text{CCR値}) \text{高速クロックモード} (\text{CCR値} = 5)}$ CCR値 = 0 ~ 2は の周波数に関わらず設定禁止です。SCL周波数が標準クロックモード時最大100kHz、高速クロックモード時最大400kHzとなるように、SCL周波数制御ビットCCR4 ~ CCR0を指定ください。</p>	レジスタ値 b4 ~ b0	標準 クロック モード	高速 クロック モード	00 ~ 02	禁止	禁止	03	(注2)	333	04	(注2)	250	05	100	400(注3)	06	83.3	166	:	500/CCR値(注3)	1000/CCR値(注3)	1D	17.2	34.5	1E	16.6	33.3	1F	16.1	32.3
レジスタ値 b4 ~ b0	標準 クロック モード	高速 クロック モード																																																													
00 ~ 02	禁止	禁止																																																													
03	禁止	333																																																													
04	禁止	250																																																													
05	100	400(注)																																																													
06	83.3	166																																																													
:	500/CCR値	1000/CCR値																																																													
1D	17.2	34.5																																																													
1E	16.6	33.3																																																													
1F	16.1	32.3																																																													
レジスタ値 b4 ~ b0	標準 クロック モード	高速 クロック モード																																																													
00 ~ 02	禁止	禁止																																																													
03	(注2)	333																																																													
04	(注2)	250																																																													
05	100	400(注3)																																																													
06	83.3	166																																																													
:	500/CCR値(注3)	1000/CCR値(注3)																																																													
1D	17.2	34.5																																																													
1E	16.6	33.3																																																													
1F	16.1	32.3																																																													

ページ	位置	誤	正																																																														
2-56	図2.4.7	<p>b7 b6 b5 b4 b3 b2 b1 b0</p>	<p>b7 b6 b5 b4 b3 b2 b1 b0</p>																																																														
2-66 2-76	11行目 3行目	...最終受信(LRB)ビット (002B ₁₆ 番地のビット0)最終受信(LRB)ビット (002D ₁₆ 番地のビット0) ...																																																														
2-68	3行目	<p>...アックビット (ACK BIT) ビット (002B₁₆番地のビット6) を...(中略)...他のマスタデバイスによる通信が優先して行われるので、後述するスレーブモードでの異常処理を行い、の処理へ戻ります。</p> <p>最終受信 (LRB) ビット (002B₁₆番地のビット0) が “1” になっている場合は、...</p>	<p>...アック (ACK BIT) ビット (002F₁₆番地のビット6) を...(中略)...他のマスタデバイスによる通信が優先して行われるので、(一部削除) の処理へ戻ります。</p> <p>最終受信 (LRB) ビット (002D₁₆番地のビット0) が “1” になっている場合は、...</p>																																																														
2-69 2-70	3行目 3行目	次にアックビット (ACK BIT) ビット (002B ₁₆ 番地のビット6) を...	次にアック (ACK BIT) ビット (002F ₁₆ 番地のビット6) を...																																																														
2-80 2-81	9行目 19行目	<p>ストップコンディション割り込みでBB=“0”のとき... (中略) ...</p> <p>注: M38514M6では、...</p>	<p>ストップコンディション割り込みでPIN= “1” のとき... (中略) ...</p> <p>注: M38514E6/M6では、...</p>																																																														
2-87	下端の空白		<p>図2.5.10の下に追記。</p> <p>2.5.4 PWMに関する注意事項</p> <p>PWM機能許可ビットが許可に設定され、PWM端子から “L” レベルが出力された後、PWMは開始します。</p> <p>この “L” レベルの出力時間は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カウントソース選択ビット = “0”, n = プリスケアラ設定値 $\frac{n+1}{2 \times f(X_{IN})} \text{ (秒)}$ <ul style="list-style-type: none"> ・カウントソース選択ビット = “1”, n = プリスケアラ設定値 $\frac{n+1}{f(X_{IN})} \text{ (秒)}$																																																														
3-2	表3.1.1	<table border="1"> <thead> <tr> <th>記号</th> <th>項目</th> <th>条件</th> <th>定格値</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Vcc</td> <td>電源電圧</td> <td></td> <td>- 0.3 ~ 7.0</td> <td>V</td> </tr> </tbody> </table>	記号	項目	条件	定格値	単位	Vcc	電源電圧		- 0.3 ~ 7.0	V	<table border="1"> <thead> <tr> <th>記号</th> <th>項目</th> <th>条件</th> <th>定格値</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">Vcc</td> <td rowspan="3">電源電圧</td> <td></td> <td>M38513E4/M4 - 0.3 ~ 7.0</td> <td rowspan="3">V</td> </tr> <tr> <td></td> <td>M38514E6</td> </tr> <tr> <td></td> <td>M38514M6 - 0.3 ~ 6.5</td> </tr> </tbody> </table>	記号	項目	条件	定格値	単位	Vcc	電源電圧		M38513E4/M4 - 0.3 ~ 7.0	V		M38514E6		M38514M6 - 0.3 ~ 6.5																																						
記号	項目	条件	定格値	単位																																																													
Vcc	電源電圧		- 0.3 ~ 7.0	V																																																													
記号	項目	条件	定格値	単位																																																													
Vcc	電源電圧		M38513E4/M4 - 0.3 ~ 7.0	V																																																													
			M38514E6																																																														
			M38514M6 - 0.3 ~ 6.5																																																														
3-3	表3.1.2	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>VIH</td> <td>“H” 入力電圧(I²C-BUS入力レベル選択時) SDA1、SDA2、SCL1、SCL2</td> <td>0.7Vcc</td> <td></td> <td>Vcc</td> </tr> <tr> <td>VIH</td> <td>“H” 入力電圧(SMBUS入力レベル選択時) SDA1、SDA2、SCL1、SCL2</td> <td>1.4</td> <td></td> <td>Vcc</td> </tr> </tbody> </table>	VIH	“H” 入力電圧(I ² C-BUS入力レベル選択時) SDA1、SDA2、SCL1、SCL2	0.7Vcc		Vcc	VIH	“H” 入力電圧(SMBUS入力レベル選択時) SDA1、SDA2、SCL1、SCL2	1.4		Vcc	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>VIH</td> <td>“H” 入力電圧(I²C-BUS入力レベル選択時) SDA2、SCL2</td> <td>SDA1、SCL1</td> <td>0.7Vcc</td> <td>5.8</td> <td>Vcc</td> </tr> <tr> <td>VIH</td> <td>“H” 入力電圧(SMBUS入力レベル選択時) SDA2、SCL2</td> <td>SDA1、SCL1</td> <td>1.4</td> <td>5.8</td> <td>Vcc</td> </tr> </tbody> </table>	VIH	“H” 入力電圧(I ² C-BUS入力レベル選択時) SDA2、SCL2	SDA1、SCL1	0.7Vcc	5.8	Vcc	VIH	“H” 入力電圧(SMBUS入力レベル選択時) SDA2、SCL2	SDA1、SCL1	1.4	5.8	Vcc																																								
VIH	“H” 入力電圧(I ² C-BUS入力レベル選択時) SDA1、SDA2、SCL1、SCL2	0.7Vcc		Vcc																																																													
VIH	“H” 入力電圧(SMBUS入力レベル選択時) SDA1、SDA2、SCL1、SCL2	1.4		Vcc																																																													
VIH	“H” 入力電圧(I ² C-BUS入力レベル選択時) SDA2、SCL2	SDA1、SCL1	0.7Vcc	5.8	Vcc																																																												
VIH	“H” 入力電圧(SMBUS入力レベル選択時) SDA2、SCL2	SDA1、SCL1	1.4	5.8	Vcc																																																												
3-3	表3.1.2	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>IOL (peak)</td> <td>“L” 出力総尖頭電流(注) P00 ~ P07, P10 ~ P12, P30 ~ P34</td> <td></td> <td></td> <td>80</td> </tr> <tr> <td>IOL (peak)</td> <td>“L” 出力総尖頭電流(注) P13 ~ P17</td> <td></td> <td></td> <td>80</td> </tr> <tr> <td colspan="5" style="text-align:center;">(中略)</td> </tr> <tr> <td>IOL (avg)</td> <td>“L” 出力総平均電流(注) P00 ~ P07, P10 ~ P12, P30 ~ P34</td> <td></td> <td></td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>IOL (avg)</td> <td>“L” 出力総平均電流(注) P13 ~ P17</td> <td></td> <td></td> <td>40</td> </tr> </tbody> </table>	IOL (peak)	“L” 出力総尖頭電流(注) P00 ~ P07, P10 ~ P12, P30 ~ P34			80	IOL (peak)	“L” 出力総尖頭電流(注) P13 ~ P17			80	(中略)					IOL (avg)	“L” 出力総平均電流(注) P00 ~ P07, P10 ~ P12, P30 ~ P34			40	IOL (avg)	“L” 出力総平均電流(注) P13 ~ P17			40	<table border="1"> <tbody> <tr> <td rowspan="2">IOL (peak)</td> <td rowspan="2">“L” 出力総尖頭電流(注)</td> <td>P00 ~ P07, P10 ~ P12, P30 ~ P34 (M38513E4/M4)</td> <td></td> <td>80</td> </tr> <tr> <td>P00 ~ P07, P30 ~ P34 (M38514E6/M6)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">IOL (peak)</td> <td rowspan="2">“L” 出力総尖頭電流(注)</td> <td>P13 ~ P17 (M38513E4/M4)</td> <td></td> <td>80</td> </tr> <tr> <td>P10 ~ P17 (M38513E6/M6)</td> <td></td> <td>120</td> </tr> <tr> <td colspan="5" style="text-align:center;">(中略)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">IOL (avg)</td> <td rowspan="2">“L” 出力総平均電流(注)</td> <td>P00 ~ P07, P10 ~ P12, P30 ~ P34 (M38513E4/M4)</td> <td></td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>P00 ~ P07, P30 ~ P34 (M38514E6/M6)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">IOL (avg)</td> <td rowspan="2">“L” 出力総平均電流(注)</td> <td>P13 ~ P17 (M38513E4/M4)</td> <td></td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>P10 ~ P17 (M38513E6/M6)</td> <td></td> <td>60</td> </tr> </tbody> </table>	IOL (peak)	“L” 出力総尖頭電流(注)	P00 ~ P07, P10 ~ P12, P30 ~ P34 (M38513E4/M4)		80	P00 ~ P07, P30 ~ P34 (M38514E6/M6)			IOL (peak)	“L” 出力総尖頭電流(注)	P13 ~ P17 (M38513E4/M4)		80	P10 ~ P17 (M38513E6/M6)		120	(中略)					IOL (avg)	“L” 出力総平均電流(注)	P00 ~ P07, P10 ~ P12, P30 ~ P34 (M38513E4/M4)		40	P00 ~ P07, P30 ~ P34 (M38514E6/M6)			IOL (avg)	“L” 出力総平均電流(注)	P13 ~ P17 (M38513E4/M4)		40	P10 ~ P17 (M38513E6/M6)		60
IOL (peak)	“L” 出力総尖頭電流(注) P00 ~ P07, P10 ~ P12, P30 ~ P34			80																																																													
IOL (peak)	“L” 出力総尖頭電流(注) P13 ~ P17			80																																																													
(中略)																																																																	
IOL (avg)	“L” 出力総平均電流(注) P00 ~ P07, P10 ~ P12, P30 ~ P34			40																																																													
IOL (avg)	“L” 出力総平均電流(注) P13 ~ P17			40																																																													
IOL (peak)	“L” 出力総尖頭電流(注)	P00 ~ P07, P10 ~ P12, P30 ~ P34 (M38513E4/M4)		80																																																													
		P00 ~ P07, P30 ~ P34 (M38514E6/M6)																																																															
IOL (peak)	“L” 出力総尖頭電流(注)	P13 ~ P17 (M38513E4/M4)		80																																																													
		P10 ~ P17 (M38513E6/M6)		120																																																													
(中略)																																																																	
IOL (avg)	“L” 出力総平均電流(注)	P00 ~ P07, P10 ~ P12, P30 ~ P34 (M38513E4/M4)		40																																																													
		P00 ~ P07, P30 ~ P34 (M38514E6/M6)																																																															
IOL (avg)	“L” 出力総平均電流(注)	P13 ~ P17 (M38513E4/M4)		40																																																													
		P10 ~ P17 (M38513E6/M6)		60																																																													

ページ	位置	誤	正																																																		
3-4	表3.1.3	<table border="1"> <tr> <td>IOL (peak)</td> <td>"L" 出力尖頭電流(注1) P00 ~ P07, P10 ~ P12, P20 ~ P27, P30 ~ P34, P40 ~ P44</td> <td></td> <td></td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>IOL (peak)</td> <td>"L" 出力尖頭電流(注1) P13 ~ P17</td> <td></td> <td></td> <td>20</td> </tr> <tr> <td colspan="5" style="text-align:center;">(中略)</td> </tr> <tr> <td>IOL (avg)</td> <td>"L" 出力平均電流(注2) P00 ~ P07, P10 ~ P12, P20 ~ P27, P30 ~ P34, P40 ~ P44</td> <td></td> <td></td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>IOL (avg)</td> <td>"L" 出力平均電流(注2) P13 ~ P17</td> <td></td> <td></td> <td>15</td> </tr> </table>	IOL (peak)	"L" 出力尖頭電流(注1) P00 ~ P07, P10 ~ P12, P20 ~ P27, P30 ~ P34, P40 ~ P44			10	IOL (peak)	"L" 出力尖頭電流(注1) P13 ~ P17			20	(中略)					IOL (avg)	"L" 出力平均電流(注2) P00 ~ P07, P10 ~ P12, P20 ~ P27, P30 ~ P34, P40 ~ P44			5	IOL (avg)	"L" 出力平均電流(注2) P13 ~ P17			15	<table border="1"> <tr> <td>IOL (peak)</td> <td>"L" 出力尖頭電流(注1) P00 ~ P07, P10 ~ P12, P20 ~ P27, P30 ~ P34, P40 ~ P44 (M38513E4/M4)</td> <td></td> <td></td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>IOL (peak)</td> <td>"L" 出力尖頭電流(注1) P00 ~ P07, P20 ~ P27, P30 ~ P34, P40 ~ P44 (M38514E6/M6)</td> <td></td> <td></td> <td>20</td> </tr> <tr> <td colspan="5" style="text-align:center;">(中略)</td> </tr> <tr> <td>IOL (avg)</td> <td>"L" 出力平均電流(注2) P00 ~ P07, P10 ~ P12, P20 ~ P27, P30 ~ P34, P40 ~ P44 (M38513E4/M4)</td> <td></td> <td></td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>IOL (avg)</td> <td>"L" 出力平均電流(注2) P00 ~ P07, P20 ~ P27, P30 ~ P34, P40 ~ P44 (M38514E6/M6)</td> <td></td> <td></td> <td>15</td> </tr> </table>	IOL (peak)	"L" 出力尖頭電流(注1) P00 ~ P07, P10 ~ P12, P20 ~ P27, P30 ~ P34, P40 ~ P44 (M38513E4/M4)			10	IOL (peak)	"L" 出力尖頭電流(注1) P00 ~ P07, P20 ~ P27, P30 ~ P34, P40 ~ P44 (M38514E6/M6)			20	(中略)					IOL (avg)	"L" 出力平均電流(注2) P00 ~ P07, P10 ~ P12, P20 ~ P27, P30 ~ P34, P40 ~ P44 (M38513E4/M4)			5	IOL (avg)	"L" 出力平均電流(注2) P00 ~ P07, P20 ~ P27, P30 ~ P34, P40 ~ P44 (M38514E6/M6)			15
IOL (peak)	"L" 出力尖頭電流(注1) P00 ~ P07, P10 ~ P12, P20 ~ P27, P30 ~ P34, P40 ~ P44			10																																																	
IOL (peak)	"L" 出力尖頭電流(注1) P13 ~ P17			20																																																	
(中略)																																																					
IOL (avg)	"L" 出力平均電流(注2) P00 ~ P07, P10 ~ P12, P20 ~ P27, P30 ~ P34, P40 ~ P44			5																																																	
IOL (avg)	"L" 出力平均電流(注2) P13 ~ P17			15																																																	
IOL (peak)	"L" 出力尖頭電流(注1) P00 ~ P07, P10 ~ P12, P20 ~ P27, P30 ~ P34, P40 ~ P44 (M38513E4/M4)			10																																																	
IOL (peak)	"L" 出力尖頭電流(注1) P00 ~ P07, P20 ~ P27, P30 ~ P34, P40 ~ P44 (M38514E6/M6)			20																																																	
(中略)																																																					
IOL (avg)	"L" 出力平均電流(注2) P00 ~ P07, P10 ~ P12, P20 ~ P27, P30 ~ P34, P40 ~ P44 (M38513E4/M4)			5																																																	
IOL (avg)	"L" 出力平均電流(注2) P00 ~ P07, P20 ~ P27, P30 ~ P34, P40 ~ P44 (M38514E6/M6)			15																																																	
3-4	表3.1.4	<table border="1"> <tr> <td>VOL</td> <td>"L" 出力電圧 P00 ~ P07, P10 ~ P12, P20 ~ P27, P30 ~ P34, P40 ~ P44</td> <td>IOL=10mA Vcc=4.0 ~ 5.5V</td> </tr> <tr> <td>VOL</td> <td>"L" 出力電圧 P13 ~ P17</td> <td>IOL=1.0mA Vcc=2.7 ~ 5.5V</td> </tr> <tr> <td>VOL</td> <td>"L" 出力電圧 P00 ~ P07, P20 ~ P27, P30 ~ P34, P40 ~ P44 (M38514E6/M6)</td> <td>IOL=20mA Vcc=4.0 ~ 5.5V</td> </tr> <tr> <td>VOL</td> <td>"L" 出力電圧 P13 ~ P17 (M38513E4/M4)</td> <td>IOL=10mA Vcc=2.7 ~ 5.5V</td> </tr> <tr> <td>VOL</td> <td>"L" 出力電圧 P10 ~ P17 (M38514E6/M6)</td> <td>IOL=10mA Vcc=4.0 ~ 5.5V</td> </tr> </table>	VOL	"L" 出力電圧 P00 ~ P07, P10 ~ P12, P20 ~ P27, P30 ~ P34, P40 ~ P44	IOL=10mA Vcc=4.0 ~ 5.5V	VOL	"L" 出力電圧 P13 ~ P17	IOL=1.0mA Vcc=2.7 ~ 5.5V	VOL	"L" 出力電圧 P00 ~ P07, P20 ~ P27, P30 ~ P34, P40 ~ P44 (M38514E6/M6)	IOL=20mA Vcc=4.0 ~ 5.5V	VOL	"L" 出力電圧 P13 ~ P17 (M38513E4/M4)	IOL=10mA Vcc=2.7 ~ 5.5V	VOL	"L" 出力電圧 P10 ~ P17 (M38514E6/M6)	IOL=10mA Vcc=4.0 ~ 5.5V	<table border="1"> <tr> <td>VOL</td> <td>"L" 出力電圧 P00 ~ P07, P10 ~ P12, P20 ~ P27, P30 ~ P34, P40 ~ P44 (M38513E4/M4)</td> <td>IOL=10mA Vcc=4.0 ~ 5.5V</td> </tr> <tr> <td>VOL</td> <td>"L" 出力電圧 P00 ~ P07, P20 ~ P27, P30 ~ P34, P40 ~ P44 (M38514E6/M6)</td> <td>IOL=1.0mA Vcc=2.7 ~ 5.5V</td> </tr> <tr> <td>VOL</td> <td>"L" 出力電圧 P13 ~ P17 (M38513E4/M4)</td> <td>IOL=20mA Vcc=4.0 ~ 5.5V</td> </tr> <tr> <td>VOL</td> <td>"L" 出力電圧 P10 ~ P17 (M38514E6/M6)</td> <td>IOL=10mA Vcc=2.7 ~ 5.5V</td> </tr> </table>	VOL	"L" 出力電圧 P00 ~ P07, P10 ~ P12, P20 ~ P27, P30 ~ P34, P40 ~ P44 (M38513E4/M4)	IOL=10mA Vcc=4.0 ~ 5.5V	VOL	"L" 出力電圧 P00 ~ P07, P20 ~ P27, P30 ~ P34, P40 ~ P44 (M38514E6/M6)	IOL=1.0mA Vcc=2.7 ~ 5.5V	VOL	"L" 出力電圧 P13 ~ P17 (M38513E4/M4)	IOL=20mA Vcc=4.0 ~ 5.5V	VOL	"L" 出力電圧 P10 ~ P17 (M38514E6/M6)	IOL=10mA Vcc=2.7 ~ 5.5V																							
VOL	"L" 出力電圧 P00 ~ P07, P10 ~ P12, P20 ~ P27, P30 ~ P34, P40 ~ P44	IOL=10mA Vcc=4.0 ~ 5.5V																																																			
VOL	"L" 出力電圧 P13 ~ P17	IOL=1.0mA Vcc=2.7 ~ 5.5V																																																			
VOL	"L" 出力電圧 P00 ~ P07, P20 ~ P27, P30 ~ P34, P40 ~ P44 (M38514E6/M6)	IOL=20mA Vcc=4.0 ~ 5.5V																																																			
VOL	"L" 出力電圧 P13 ~ P17 (M38513E4/M4)	IOL=10mA Vcc=2.7 ~ 5.5V																																																			
VOL	"L" 出力電圧 P10 ~ P17 (M38514E6/M6)	IOL=10mA Vcc=4.0 ~ 5.5V																																																			
VOL	"L" 出力電圧 P00 ~ P07, P10 ~ P12, P20 ~ P27, P30 ~ P34, P40 ~ P44 (M38513E4/M4)	IOL=10mA Vcc=4.0 ~ 5.5V																																																			
VOL	"L" 出力電圧 P00 ~ P07, P20 ~ P27, P30 ~ P34, P40 ~ P44 (M38514E6/M6)	IOL=1.0mA Vcc=2.7 ~ 5.5V																																																			
VOL	"L" 出力電圧 P13 ~ P17 (M38513E4/M4)	IOL=20mA Vcc=4.0 ~ 5.5V																																																			
VOL	"L" 出力電圧 P10 ~ P17 (M38514E6/M6)	IOL=10mA Vcc=2.7 ~ 5.5V																																																			
3-6	表3.1.6 測定条件の 3段目 4段目	<p>低速モード時 f(X_{IN})=停止 f(X_{CIN})=32.768kHz 消費電力モード (CM₃=0) 出力トランジスタは遮断状態</p> <hr/> <p>低速モード時 f(X_{IN})=停止 f(X_{CIN})=32.768kHz (WIT命令実行時) 消費電力モード (CM₃=0) 出力トランジスタは遮断状態</p>	<p>低速モード時 f(X_{IN})=停止 f(X_{CIN})=32.768kHz 出力トランジスタは遮断状態</p> <hr/> <p>低速モード時 f(X_{IN})=停止 f(X_{CIN})=32.768kHz (WIT命令実行時) 出力トランジスタは遮断状態</p>																																																		
3-6	表3.1.6 測定条件の 5段目 6段目	<p>低速モード時 (Vcc=3V) f(X_{IN})=停止 f(X_{CIN})=32.768kHz 消費電力モード (CM₃=0) 出力トランジスタは遮断状態</p> <hr/> <p>低速モード時 (Vcc=3V) f(X_{IN})=停止 f(X_{CIN})=32.768kHz (WIT命令実行時) 消費電力モード (CM₃=0) 出力トランジスタは遮断状態</p>	<p>低速モード時 (Vcc=3V) f(X_{IN})=停止 f(X_{CIN})=32.768kHz 出力トランジスタは遮断状態</p> <hr/> <p>低速モード時 (Vcc=3V) f(X_{IN})=停止 f(X_{CIN})=32.768kHz (WIT命令実行時) 出力トランジスタは遮断状態</p>																																																		
3-7	表3.1.7	<table border="1"> <tr> <td>tCONV</td> <td>変換時間</td> <td></td> <td></td> <td>61</td> <td>tc()</td> </tr> <tr> <td>RLADDER</td> <td>ラダー抵抗</td> <td></td> <td>35</td> <td></td> <td>k</td> </tr> </table>	tCONV	変換時間			61	tc()	RLADDER	ラダー抵抗		35		k	<table border="1"> <tr> <td>tCONV</td> <td>変換時間</td> <td>高速モード及び中速モード</td> <td></td> <td>61</td> <td>tc()</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>低速モード(注)</td> <td></td> <td>40</td> <td>μs</td> </tr> <tr> <td>RLADDER</td> <td>ラダー抵抗</td> <td></td> <td>35</td> <td></td> <td>k</td> </tr> </table> <p>(表欄外に追記。) 注：低速モードでのA-D変換の実行は、M38514E6/M6のみ可能です。</p>	tCONV	変換時間	高速モード及び中速モード		61	tc()			低速モード(注)		40	μs	RLADDER	ラダー抵抗		35		k																				
tCONV	変換時間			61	tc()																																																
RLADDER	ラダー抵抗		35		k																																																
tCONV	変換時間	高速モード及び中速モード		61	tc()																																																
		低速モード(注)		40	μs																																																
RLADDER	ラダー抵抗		35		k																																																

ページ	位置	誤	正
3-16	中段	3.2.3 入力電流標準特性例 入力電流標準特性例を図3.2.7、図3.2.8、及び図3.2.9に示します。	すべて削除。
3-18	4行目	...理想的にはAN ₀ = 4.88mVの点で起こります。しかし、絶対精度誤差の測定値は - 6mVですから、“4.88 - 6 = - 1.12mV”が... (中略) ... 例えば、出力コードが96である入力電圧の幅の測定値は6mVですから、微分非直線性誤差は“6 - 4.88 = 1.12mV (0.23LSB)”であることを表します。	...理想的にはAN ₀ = 2.5mVの点で起こります。しかし、絶対精度誤差の測定値は - 4mVですから、“2.5 - 4 = - 1.5mV”が... (中略) ... 例えば、出力コードが96である入力電圧の幅の測定値は5mVですから、微分非直線性誤差は“5 - 5 = 0mV (0LSB)”であることを表します。
3-19	5行目	...別々の命令で実行してください。	...実行してください。
3-19	図3.3.1	割り込み要求ビットを“0” (割り込み禁止) にする。 ... (中略) ... 割り込み要求ビットを“1” (割り込み許可) にする。	割り込み許可ビットを“0” (割り込み禁止) にする。 ... (中略) ... 割り込み許可ビットを“1” (割り込み許可) にする。
3-25	24行目	対策： ストップコンディション割り込みでBB = “0”の時、I ² Cデータシフトレジスタに... (中略) ... 注：リード・モデファイ・ライト命令は使用不可。 また、ES0ビットを“0”に設定した時点で汎用ポートになるため、ポートは入力モードか“H”出力に設定する。	対策： ストップコンディション割り込みでPIN = “1”の時、I ² Cデータシフトレジスタに... (中略) ... 注1：リード・モデファイ・ライト命令は使用不可。また、ES0ビットを“0”に設定した時点で汎用ポートになるため、ポートは入力モードか“H”出力に設定する。 2：M38514E6/M6では、このSDAラインが“L”で保持される問題は発生しません。 注2を追記。
3-28	9行目	3.3.10 発振の再開に関する注意事項 発振の再開 STP命令実行前に、発振の立ち上がり時間を十分に確保できる値をタイマ1ラッチ及びタイマ2ラッチに設定してください。	3.3.10 発振の再開に関する注意事項 発振の再開 通常は、ストップ命令が外部割り込みにより解除されると、タイマ1及びプリスケラ12には特定の値 (タイマ1には01 ₁₆ 、プリスケラ12にはFF ₁₆) が発振安定待ちのため自動的にセットされます。 一方、MISR _G (0038 ₁₆ 番地) のビット0を“1”にセットすることで、この自動セットを無効にすることもできます。ただし、このビットを“1”にセットした場合、ストップ命令実行直前のタイマ1及びプリスケラ12に残っている値が、発振安定待ち時間用のカウンタ値となります。したがって、STP命令実行前に、発振の立ち上がり時間を十分に確保できる値をタイマ1、及びプリスケラ12に設定してください。 変更。
3-29	6行目	(2) BRK命令 割り込み要因の識別方法 ： (中略) 割り込み優先順位 下記2つの状態で...	(2) BRK命令 割り込み優先順位 下記2つの状態で... 割り込み要因の識別方法の記述、図3.3.8を削除。

ページ	位置	誤	正																																																
3-34	1行目	3.4 ノイズに関する注意事項 3.4.1 配線長の短縮 (1) パッケージ	3.4 ノイズに関する注意事項 <u>ノイズに関する注意事項及びその対策例を以下に示します。本対策例はノイズに関して理論的に有効ですが、実使用に際しては、本対策を実施した後も十分なシステム評価を行ってください。</u> 3.4.1 配線長の短縮 基板の配線は、ノイズをマイコン内部に引き込むアンテナとなる可能性があります。総配線長が短い (mm単位) ほどノイズをマイコン内部に引き込む可能性は低くなります。 (1) パッケージ																																																
3-39	図3.4.11	図3.4.11 Vss - Vccライン間のバイパスコンデンサ	図3.4.11 入出力ポート処理																																																
3-51	図3.5.19	<table border="1" data-bbox="363 658 858 792"> <tr> <td data-bbox="363 658 411 725">6</td> <td data-bbox="411 658 858 725">I²C-BUSインタフェースとポートの接続制御ビット(TSEL)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="363 725 411 792">7</td> <td data-bbox="411 725 858 792">I²C-BUSインタフェース端子入力レベル選択ビット</td> </tr> </table> 注1. P2 ₅ をI ² C-BUSインターフェースとして使用する時は、自動的にCMOS出力からPチャンネル出力禁止となります。 ...	6	I ² C-BUSインタフェースとポートの接続制御ビット(TSEL)	7	I ² C-BUSインタフェース端子入力レベル選択ビット	<table border="1" data-bbox="927 658 1422 792"> <tr> <td data-bbox="927 658 975 725">6</td> <td data-bbox="975 658 1422 725">SDA/SCL端子選択ビット(TSEL)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="927 725 975 792">7</td> <td data-bbox="975 725 1422 792">I²C-BUSインタフェース端子入力レベル選択ビット(TISS)</td> </tr> </table> 注1. P2 ₄ /P2 ₅ をI ² C-BUSインタフェースとして使用するときは、自動的にCMOS出力からPチャンネル出力禁止となります。 ...	6	SDA/SCL端子選択ビット(TSEL)	7	I ² C-BUSインタフェース端子入力レベル選択ビット(TISS)																																								
6	I ² C-BUSインタフェースとポートの接続制御ビット(TSEL)																																																		
7	I ² C-BUSインタフェース端子入力レベル選択ビット																																																		
6	SDA/SCL端子選択ビット(TSEL)																																																		
7	I ² C-BUSインタフェース端子入力レベル選択ビット(TISS)																																																		
3-52	図3.5.21	<table border="1" data-bbox="363 949 655 1016"> <tr> <td>b7</td><td>b6</td><td>b5</td><td>b4</td><td>b3</td><td>b2</td><td>b1</td><td>b0</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc;"></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> </table> (中略) <table border="1" data-bbox="363 1084 895 1173"> <tr> <td data-bbox="363 1084 411 1173">7</td> <td data-bbox="411 1084 895 1173">このビットには何も配置されていません。書き込み不可で、読み出した場合、その内容は“0”です。</td> </tr> </table>	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0									7	このビットには何も配置されていません。書き込み不可で、読み出した場合、その内容は“0”です。	<table border="1" data-bbox="927 949 1219 1016"> <tr> <td>b7</td><td>b6</td><td>b5</td><td>b4</td><td>b3</td><td>b2</td><td>b1</td><td>b0</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">0</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> </table> (中略) <table border="1" data-bbox="927 1084 1458 1173"> <tr> <td data-bbox="927 1084 975 1173">7</td> <td data-bbox="975 1084 1458 1173">このビットは“0”に固定してください。</td> </tr> </table>	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0	0								7	このビットは“0”に固定してください。												
b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0																																												
7	このビットには何も配置されていません。書き込み不可で、読み出した場合、その内容は“0”です。																																																		
b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0																																												
0																																																			
7	このビットは“0”に固定してください。																																																		
3-55	図3.5.27	<table border="1" data-bbox="363 1202 655 1270"> <tr> <td>b7</td><td>b6</td><td>b5</td><td>b4</td><td>b3</td><td>b2</td><td>b1</td><td>b0</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc;"></td><td style="background-color: #cccccc;"></td><td style="background-color: #cccccc;"></td><td style="background-color: #cccccc;"></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> </table> (中略) <table border="1" data-bbox="363 1346 895 1471"> <tr> <td data-bbox="363 1346 411 1379">4</td> <td data-bbox="411 1346 895 1379">このビットには何も配置されていません。書き込み不可で、読み出した場合、その内容は</td> </tr> <tr> <td data-bbox="363 1379 411 1413">5</td> <td data-bbox="411 1379 895 1413">“0”です。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="363 1413 411 1447">6</td> <td data-bbox="411 1413 895 1447"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="363 1447 411 1480">7</td> <td data-bbox="411 1447 895 1480"></td> </tr> </table>	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0									4	このビットには何も配置されていません。書き込み不可で、読み出した場合、その内容は	5	“0”です。	6		7		<table border="1" data-bbox="927 1202 1219 1270"> <tr> <td>b7</td><td>b6</td><td>b5</td><td>b4</td><td>b3</td><td>b2</td><td>b1</td><td>b0</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc;"></td><td style="background-color: #cccccc;"></td><td style="background-color: #cccccc;"></td><td style="background-color: #cccccc;">0</td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> </table> (中略) <table border="1" data-bbox="927 1346 1458 1471"> <tr> <td data-bbox="927 1346 975 1379">4</td> <td data-bbox="975 1346 1458 1379">このビットは“0”に固定してください。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="927 1379 975 1413">5</td> <td data-bbox="975 1379 1458 1413">これらのビットには何も配置されていません。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="927 1413 975 1447">6</td> <td data-bbox="975 1413 1458 1447">書き込み不可で、読み出した場合、その内容は</td> </tr> <tr> <td data-bbox="927 1447 975 1480">7</td> <td data-bbox="975 1447 1458 1480">“0”です。</td> </tr> </table>	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0				0					4	このビットは“0”に固定してください。	5	これらのビットには何も配置されていません。	6	書き込み不可で、読み出した場合、その内容は	7	“0”です。
b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0																																												
4	このビットには何も配置されていません。書き込み不可で、読み出した場合、その内容は																																																		
5	“0”です。																																																		
6																																																			
7																																																			
b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0																																												
			0																																																
4	このビットは“0”に固定してください。																																																		
5	これらのビットには何も配置されていません。																																																		
6	書き込み不可で、読み出した場合、その内容は																																																		
7	“0”です。																																																		
3-56	図3.5.28	b1b0 0 0 : シングルチップモード 0 1 : メモリ拡張モード 1 0 : マイクロプロセッサモード 1 1 : 使用禁止	b1b0 0 0 : シングルチップモード 0 1 : 使用禁止 1 0 : 使用禁止 1 1 : 使用禁止																																																
3-80	右段	0031 ₁₆ <input type="text"/>	0031 ₁₆ <input type="text" value="予約(注)"/>																																																